

「水と命」天の川より愛を こめて

天川村立洞川中学校 一年

更谷 昴

僕が住んでいる奈良県吉野郡天川村大字洞川は、名水百選にも選ばれる名水の里だ。そこで僕は、昔の洞川の人々が、どのように水と関って暮らしてきたのかを祖母に聞いてみた。祖母の話によれば、冷蔵庫がなかったころの洞川では、水を家に引いてきて、フネと呼ばれる水槽に水をため、野菜などを、浮かべて冷やしていた。洗濯物や野菜を洗う共同洗い場が、数カ所あり、交流の場になっていた。洞川の旅館の縁側は、山から下りてきたお客さんが、夕ライに水を入れて、足を洗うために腰かけとして利用されていたそうだ。次に僕は、天川村ガイドブックなどから、天川村の水の名所を調べてみた。天川村には、洞川湧水群や、秋の紅葉で有名な、ミタライ溪谷など多くの水の名所がある。龍泉寺には、役行者が見つけたとされる清水があり、天川大弁財天社には水の精、音楽や芸能の神様と

して有名な、弁財天女がまつられているなど、水と関わりの深い、多くのお寺や神社がある。僕は今回の調べで、今までほとんど知らなかった、天川村の水と歴史と文化の深いつながりについて知ることができた。そこで僕は、家の前を流れている山上川が、どういう所を通って、どのように太平洋へつながっているのかを調べたくなり、GWを利用し、父が運転する車で家族と共に、川の終わり、海の始まりを見に行くことにした。山上川は、アマゴやイワナ、水生昆虫など多くの生き物が生息するとても美しい川だ。さあ、これから太平洋への旅の始まりだ。洞川の上流を流れる山上川の川幅は約十メートルで、巨大な岩や、大きな石があり、杉やヒノキを中心とした針葉樹の森である。下流に近づくにつれて川幅がどんどん広くなつていき、森は鮮やかな黄緑色に変化していっ

た。数々の地形の変化、川の変化を目にしな
がらようやく、山上川（本流は熊野川）と太
平洋のつながっている所に着き、驚くべきこ
とを発見した。僕の考えていたこととまるっ
きり違っていた。僕がイメージしていた海は、
砂浜が広がっていると思っていたが、ほとん
ど石の浜だったのだ。石はウズラの卵のよう
な大きさのものが多く、なぜ石の多い浜なの
かが、とても不思議だった。石をよく観察し
てみると、山上川と同じような色の石もあり、
山上川と太平洋はつながっている事を実感し
た。

水は私達生き物の命の源であり、暮らしを
支える大切な存在である。休憩で立ち寄った、
日本最古の温泉といわれる湯の峰温泉や、十
津川村谷瀬のつり橋、熊野本宮大社は、多く
の観光客でにぎわっていた。どの地域も水に
関係していて、水を大切にしながら共に暮ら
していると感じた。地域の人々が自然、歴史、
文化を守ることによって、美しい水が守られ
ていると思った。今回の旅を通して川と太平
洋は、つながっているように、その流域で暮
らす、人と人の心もつながっていると感じた。

今までの僕は、蛇口をひねれば水が出てく
ることを当たり前のように思っていたけれど、
これからは、水のありがたさや大切さを考え、
頭を洗うときにはシャワーの水を出しっぱな
しにしないなど節水に心がけていきたい。た
った一人の節水でも、多くの人が行えば大き
な節水につながっていくと思う。

台風十二号で紀伊半島は大きな被害を受け
たが、今みんなが力を合わせて復旧に取り組
んでいるので、全国の皆さんが応援を兼ねて、
水と関わりの深い紀伊半島へぜひ遊びに来て
くれることを願います。

天川村は、星の天の川が美しく見える七夕
伝説が残るロマンチックな場所。
「水と命」天の川より愛を込めて。